

WATAKEI DX MAGAZINE

Vol. 03

2025年度IT導入補助金はじまりました

株式会社渡敬・渡敬情報システム株式会社は認定の“IT導入支援事業者”です

IT導入補助金
申請受付中！

お得にDX人材を育成しませんか？

DX学校と人材開発支援助成金の活用でお得に人材育成！

デジタル化ロードマップ作成ワークショップの記録

DX推進グループが行っているワークショップのレポートです

DX認定制度

DX認定へ向けた伴走支援の事例をご紹介します

こんなお悩みありませんか？《渡敬DX実践事例》

「申請に時間かかりすぎ…」 「社外からFAXの内容を確認できないかな…」

ペーパーレス化の事例2選をご紹介します

株式会社渡敬・渡敬情報システムは、認定の“IT導入支援事業者”です

- IT導入補助金制度概要 -

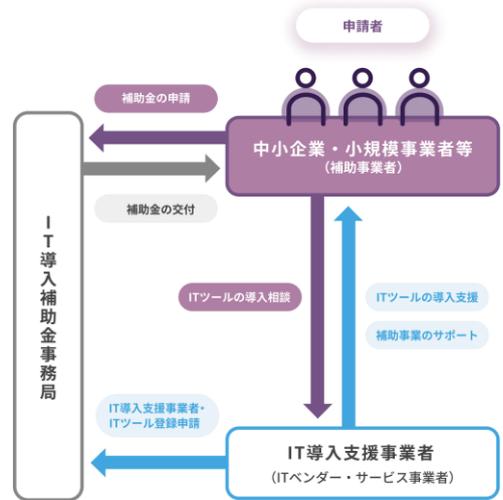
◆ IT導入補助金のしくみ

IT導入補助金は、中小企業・小規模事業者等の労働生産性の向上を目的として、業務効率化やDX等に向けたITツール（ソフトウェア、サービス等）の導入を支援する補助金です。

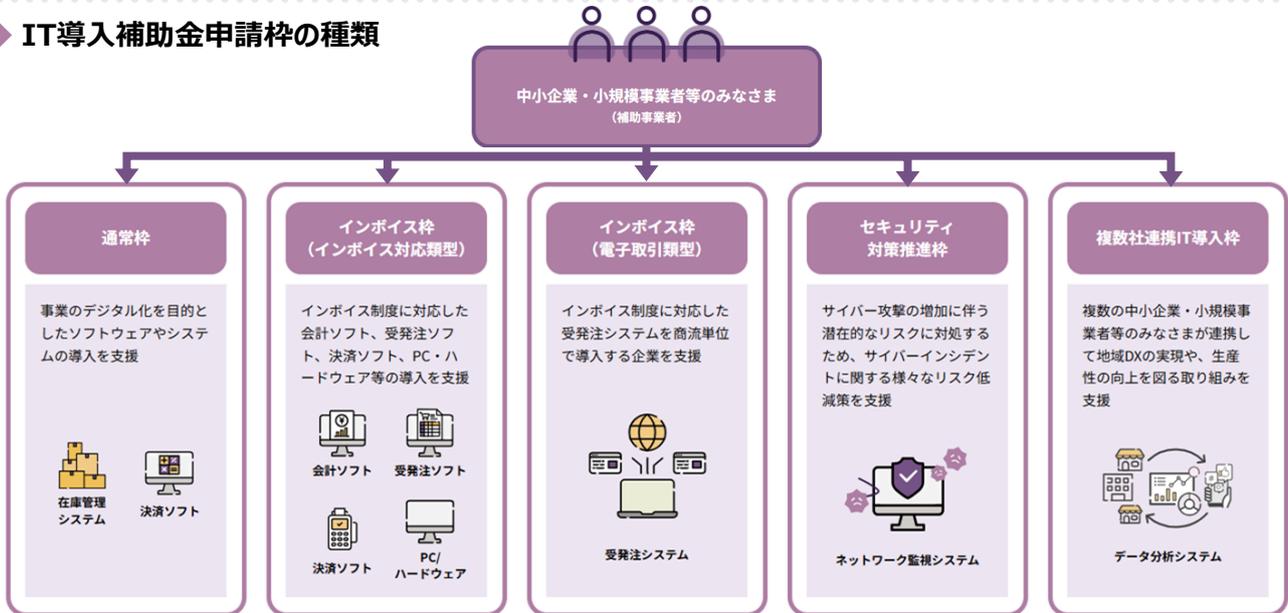
対象となるITツール（ソフトウェア、サービス等）は事前に事務局の審査を受け、補助金HPに公開（登録）されているものとなります。また、相談対応等のサポート費用やクラウドサービス利用料等も補助対象に含まれます。

補助金申請者（中小企業・小規模事業者等のみなさま）は、IT導入補助金事務局に登録された「IT導入支援事業者」とパートナーシップを組んで申請することが必要となります。*

* 複数社連携IT導入枠を除きます。



◆ IT導入補助金申請枠の種類



説明文と図は2025年度IT導入補助金ホームページより引用

- 手続きフローについて -

新規申請から交付決定までの手続き

- 1 **本事業の理解** <1日>
弊社で詳しく説明いたします。
- 2 **GBizIDの取得・セキュリティ宣言** <2週間>
WEBサイトより、自社で取得していただけます。弊社でご支援いたします。
- 3 **ITツールの決定・ITツールの登録** <1ヶ月>
システム化の検討のお手伝いを弊社で行います。ITツールの決定、ツールがなければ新たに登録いたします。
- 4 **交付申請** <1週間>
申請のお手伝いをいたします。
- 5 **交付決定** <約2ヶ月>
期間内の導入を進めてまいります。

交付決定後の手続き

- 6 **ITツールの発注・契約・導入・支払い** <平均2ヶ月>
弊社との契約および導入、ご指導を行い、ツールの本稼働をスタートいたします。
- 7 **事業実績報告** <約5日>
WEBサイトより、自社で実績報告していただけます。弊社でご支援いたします。
- 8 **補助金額の確認・承認** <約2日>
WEBページより、補助金額の確認及び承認の作業を行います。
- 9 **事業実施効果報告** <導入翌年>
導入の実績報告を細かく行います。弊社でお手伝いいたします。

- 渡敬グループ「2024年度IT導入補助金支援事業」としての実績例 -

通常枠（450万未満）

卸売業 6次承認

<4プロセス>

販売管理システム、在庫管理システム、
仕入れ管理システム、電子ワークフロー

社内の基幹システム及び業務支援の仕組みをすべて新規に導入。WEB請求や、社内の稟議をすべて電子ワークフロー化し、営業日報を導入、案件や先行管理できることにより、大幅な業務改革が実現。

通常枠（150万未満）

建設業 3次承認

<1プロセス>

就業管理システム、導入支援、保守サポート

建設業特有の現場での勤怠管理を行うためにクラウドの管理システムにより、本社一括で社員の勤務管理が行えるようになり、総務部門の効率化を推進。

インボイス対応類型（50万未満）

食品製造業 5次承認

販売管理システム、導入支援

レガシーシステムをインボイス対応の販売管理システムに刷新。最新の販売管理パッケージに運用を合わせることで、大幅な業務改善を実現。

通常枠（150万未満）

製造業 6次承認

<1プロセス>

販売管理システム、導入支援、保守サポート

2拠点に跨る管理体制を補完できるクラウド型のシステムに刷新。管理者の移動時間や仕事場所の自由度が増え、大幅な効率化が実現。

- ◆ 渡敬グループは、2025年度も多くの企業様のIT導入のご支援を行う予定です。
- ◆ プロセスに合致するものであれば新規にツール登録も可能です。ご検討を進めたい企業様は、できるだけ早く弊社営業までご相談ください。

人材開発支援助成金を活用してDX人材を育成しませんか？

生徒募集

ITに詳しい人材を育てたい中小企業のための

DX学校 秋田渡敬校

DXってなに？

ITとかよくわからない…

パソコンは苦手



DX学校は、IT・デジタルについて一から学ぶことができるプログラムです。ITに詳しくない中小企業に寄り添い、社内のデジタル人材育成を支援いたします。本プログラムでは、貴社の従業員を3か月間でIT担当者として育成し、貴社が自らデジタル化経営を推進できる体制の構築をサポートいたします。

DX学校ではこんなことが学べます！

DXとは？

DXという言葉の意味を説明できますか？DXとはどういう意味なのか、何のためにDXをするのか、わかりやすく基礎知識から説明します。

コンピューターのしくみ

普段から何気なく使用しているコンピューターは、どのようなしくみで動き、どのようなものに使用されているのでしょうか？実際の例を用いて解説します。

インターネットのしくみ

昨今の生活の中で欠かせないものとなっているインターネットは、どのようにつながっているのでしょうか？そのしくみを、解説します。

ITを導入するメリット

企業がITを導入するとどんなメリットがあるのでしょうか？実際に会社での業務の例を用いて、ITを導入する前後を比較しながら説明します。

デジタル化の事例

ITを導入することにより、売り上げを伸ばしたり、働きやすさを実現させることができた企業のデジタル化の事例を紹介します。

社内外のコミュニケーション

メールやチャット、ウェブ会議など様々なコミュニケーションツールを導入することにより、得られる効果やどのようなツールがあるかなどを紹介します。

助成金活用でお得にDX人材育成

DX人材・IT人材不足の課題を解決するためには、DX学校の研修講座と人材開発支援助成金の活用が非常に有効です。講座を受ける際に、人材開発支援助成金を活用することで、企業の負担を軽減しながら効果的にDX人材を育成することができます。研修費用や研修中の賃金の一部を国が助成してくれるため、コストを抑えつつ質の高い教育を提供することが可能です。これらを活用して、未来を担うDX人材・IT人材を育成しましょう！

※助成金の申請は、自社で行う必要がございます。詳しくは、厚生労働省の人材開発助成金をご覧ください。

DX認定制度

- 情報処理の促進に関する法律第三十一条に基づく認定制度 -

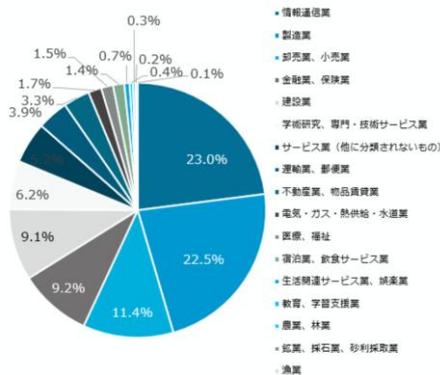
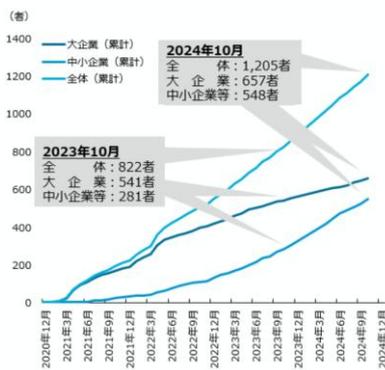
経済産業省認定



DX認定

DX認定制度は、「情報処理の促進に関する法律」に基づき、「デジタルガバナンス・コード3.0」の基本的事項に対応する企業を国が認定する制度です

DX認定取得状況



地域	DX認定事業者数	都道府県	DX認定事業者数	法人数
東北	68	青森県	7	18,074
		岩手県	7	17,344
		宮城県	25	33,974
		秋田県	11	14,700
		山形県	20	18,001
		福島県	14	31,58

- ※ DX認定の必要資料は、「DX経営戦略書」「DX認定申請書」「申請チェックシート」「DX推進指標」になります。
- ※ その他GBizIDの取得、セキュリティ診断2つ星の登録が必要です。詳しくは経済産業省のHPをご覧ください。
- ※ DX認定の経営戦略は、渡敬情報システム株式会社の「DX経営戦略」のHPを参考にしてください。

出展：経済産業省DX認定制度のHPより

事例紹介

- 「秋田県地域密着型DX支援事業」の制度を利用して渡敬情報システム株式会社をご支援いたしました -

MEP株式会社様 <大仙市 金属加工業>



社内の声を大切に、働きやすい環境づくりに挑戦

代表取締役社長 大森富重 様

私たちMEPは「社員の幸せがお客様の満足につながる」と信じて、日々ものづくりに向かっています。DXの取り組みを進める中で、社内の声を大切にしながらみんなが働きやすい環境づくりに挑戦してきました。今回のDXの挑戦では、伊藤様とのコラボレーションを通じて多くの気づきを得ることができました。丁寧なご支援に心から感謝しています。これからも、新しい技術を味方に、仲間とともに成長し伊藤様と連携しながら、お客様や地域社会へ「ありがとう」を届けられる企業を目指してまいります。

令和5年度 ご支援内容

デジタル化経営勉強会には、社長様を含め約10名の方々にご参加いただきました。勉強会を通じて、自社の課題がデジタルツールによって解決できることに気づかれ、電子ワークフローやチャットツールなど、さまざまなツールを導入されました。

弊社が約1年間の伴走支援を行った結果、社内ではこれらのツールの応用が広がり、デジタル化が加速。結果として、生産性の向上を実現することができました。現在もデジタル化に積極的に取り組み中です。

令和6年度 ご支援内容

秋田県の制度を活用し、DX認定取得に向けて弊社がDX経営戦略書の作成を支援いたしました。

DX経営戦略書は、社内でのDXを基に経営方針を明確にし、社内外に公開することでDXを推進するための計画を含む経営戦略書です。自社の「パーパス（存在意義）」をはっきりさせ、現状からビジネスモデルや企業文化をどのように変革していくか、そしてその変革のためにデジタルツールをどのように活用するかを文書化し、DXに取り組むことが求められます。

本件のお客様は、令和7年のDX認定取得を目指して、現在も引き続き活動を行っています。

デジタル経営への第一歩

デジタル化ロードマップ作成ワークショップの記録

DX推進グループで行っている、「ロードマップ作成ワークショップ」の様子をご紹介します。

ロードマップ作成ワークショップとは？

「これからデジタル化を進めていきたいが、進め方がわからない、実践に移せるか不安がある」という企業様のために、現状の課題をお聞きしながら、デジタル化を推進するにあたり必要な、デジタル化ロードマップ、デジタル化ヘシフトするための設計図をワークショップ形式で一緒に作成いたします。

ワークショップは全3回、下記の内容で進めていきます。

第1回 ワークショップの内容説明・デジタル化基礎知識・ネットワークインフラ調査・業務棚卸方法の説明

第2回 業務別デジタル化の検討・デジタルツールの検討

第3回 デジタル化の投資対効果の検証・デジタル化実行スケジュールの策定

Case03

北秋田市 木材製造業 | 参加者:取締役、営業課長、副工場長

2025年3月6日、第3回目のワークショップを実施いたしました。今回のワークショップでは、お客様に業務の棚卸を行っていただき、その中で見えてきた課題を解決するためのツールと、そのツールを導入した場合の概算コストを提示いたしました。また、ツール導入後2年後の投資効果予測として、生産性が向上し、売上総利益がどのように変化するかもご提示いたしました。

こちらのお客様は、特にExcelの個人管理や手書きからの転記入力など、生産管理に関わる課題が多く見受けられました。そこで、今回のワークショップでは、生産管理システムを実際にノーコードツールで弊社が作成し、より具体的なイメージを持っていただくためのデモンストレーションを行いました。

また、今回のワークショップにご参加いただいた皆様からは、現状の不明点や不安感について率直なご意見をいただくことができました。今後は、お客様の方で他の社員の皆様の意見もお聞きいただけるとのことでしたので、弊社としてもできる限りお客様の不安を取り除けるよう支援しながら進めていきたいと考えております。

木材をお取り扱いのあるお客様の社内に入ると、木の良い香りが漂い、展示されている木製の製品には温かみを感じられました。訪問させていただいた私たちが逆に様々な興味を持ってしまいました。そのようなお客様と関わりを持てたこと、そしてそのお客様のデジタル化にご協力できることを大変嬉しく思いました。



Case04

大仙市 鋼材加工・販売業 | 参加者:代表取締役

2025年3月13日に第3回ワークショップを開催し、今後導入予定のデジタルツールとそのロードマップ(導入スケジュール)が決定しました。そして、今回(2025年3月28日)は導入に向けたスケジュールの確認とデジタルツールの機能についての打ち合わせを行いました。

代表は、「デジタル化やDX化は、これからの企業運営において必須であり、既存の業務にとらわれない柔軟な考え方を社員に持ってほしい。ITリテラシーの向上を契機に、様々な挑戦をする社員を育てていきたい」という明確なビジョンをお持ちです。

これから導入するグループウェアやチャットツールを通じて、社員間のコミュニケーションを促進し、情報の共有を進めて、ノーコードデータベースにより属人化を防ぎつつ、業務効率の向上を図り、Excelからの脱却を目指します。

我々DX推進Gのメンバーも社長の熱意に負けず、支援を行ってまいります。





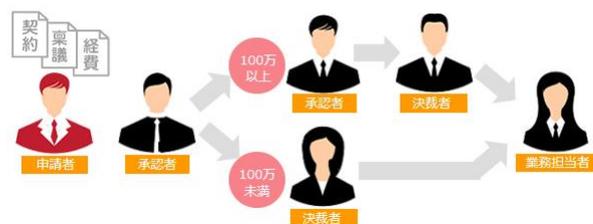
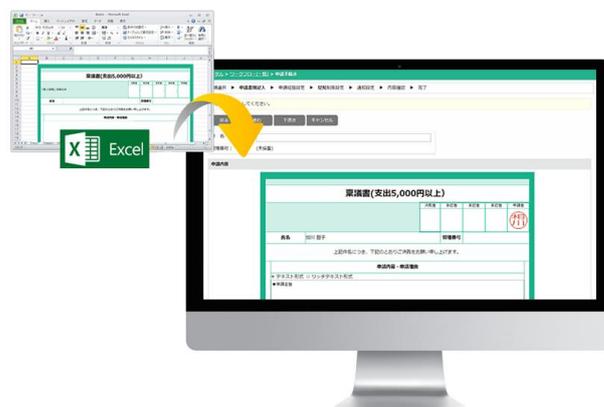
- 紙での申請は時間がかかって非効率…
- 保管場所が必要だし、探したすのも一苦労…
- 忙しい上司に有休申請出しに行きづらいな…

申請業務の電子化で 業務効率を大幅に向上させましょう！

紙ベースの申請書類には、多くの課題が伴います。承認まで時間がかかったり、紛失のリスクがあったり、保管スペースも必要です。弊社も、以前は各種申請書や稟議書は紙での申請でした。総務部門は本社にあるため、各支店は郵送やFAXで本社まで送っていました。有休申請を出したものの承認が間に合わず当日になってしまった…なんてことも過去には…。

現在は、ワークフローツールを導入し、申請を電子化しています。外出先からでもPCやスマートフォンで申請及び承認できるため、申請書がたまる心配もなく、業務効率が大幅に向上します。また、電子データでの保存になるため、紙書類の保管が不要になり、紛失のリスクや、探しにくさも解消されます。

もともとExcelで作成した申請書フォームがある場合、取り込むだけで申請フォームが作成できます。さらに、柔軟な経路設定が可能です。あらゆる条件、部署別・業務種別、全員の承認が必要な経路や、上長の承認など、多様な経路パターンに対応できます。



NI Collabo 360 : 月額328円/名(税込:360円)

働きやすさを実現 電子ワークフローで業務を快適に！

申請業務を電子化することで、社員の働きやすさや満足度に大きな影響を与えます。

承認ステータスが明確になることで、今どこで申請書が止まっているのかすぐに確認できます。これにより、業務の透明性が向上し、関係者間のコミュニケーションがスムーズになります。また、新入社員でも、迷うことなく会社の規定通りの申請書を作成することができ、業務への迅速な適応が促進されます。

社員の自己都合による申請（有休申請など）がスピー

ディに回ること、社員の欲求の可否判断が速くなり、社員満足度の向上につながります。

さらに、決裁者は過去の申請履歴を確認できるため、自分の決済の振り返りが可能になります。

デジタル化による業務改善は、組織のパフォーマンス向上に貢献します。

「机の上に申請書類がたまっている」「承認まで時間かかりすぎ…」などとお悩みでしたら、ぜひ、取り入れてみてはいかがでしょうか。

- 担当者への振り分け作業に時間がかかる…
- 他部署・他拠点とタイムリーに情報共有したい…
- 社外からもFAXの内容を確認できないかな…



ペーパーレスFAXで業務効率化とコスト削減

複合機等のFAX受信をグループウェアのNI Collabo 360と連携させることで、いつでもどこでもFAXをペーパーレスで確認することができます。外出中や夜間のFAXでも、内容の確認のためだけに会社に行く必要がなくなります。

複数のFAXを登録することも可能ですので、拠点をまとめて一元管理し、送信元を判別して担当者に通知することもできます。手動で担当者を指定したい場合でも、リストから選択するだけなので、手配りする必要がなくなります。弊社でも、以前は振り分け作業に月間16時間ほど費やしていましたが、今では1時間程度と大幅な効率化が図れています。

一覧画面からワークフローや電帳法ストレージへの転送もできるので業務プロセス改革を実現できます。

また、FAXをデジタル化することで、必要な文書のみ印刷で済ませることが可能になります。紙やインクの消費を大幅に削減し、コスト削減につながります。デジタルデータとして保存するため、過去の文書の参照や整理を効率よく行えるようになります。



NI Collabo 360 : 月額328円/名(税込:360円)

対応管理で顧客満足度向上、信頼関係の構築

FAXの一覧画面では、対応状況の管理も可能です。1件ごとに担当者や対応状況を設定でき、一覧から一目で確認できるため、対応の抜け漏れを防ぐことができます。誰がどのFAXを処理したのか、または処理する予定なのかを容易に追跡できるため、対応管理が明確になり、顧客満足度の向上に大きく寄与します。これにより、顧客からの信頼が高まり、長期的な関係構築が可能になります。また、正確な対応が実現することで、顧客の期待に応えることができ、企業の評価にもつながります。

対応状況	担当者
<input type="checkbox"/> 未対応	熊谷 勇人
<input type="checkbox"/> 未対応	佐野 律子
<input checked="" type="checkbox"/> 対応済	伊藤 直也
<input type="checkbox"/> 未対応	柿崎 智也
<input checked="" type="checkbox"/> 対応中	武内 理菜
<input type="checkbox"/> 未対応	石河 良友
<input checked="" type="checkbox"/> 対応済	柿崎 武
<input type="checkbox"/> 未対応	佐藤 樹
<input checked="" type="checkbox"/> 対応中	渋谷 洋介

編集後記

渡敬DX通信3号をご覧いただき、誠にありがとうございます。今号では、新年度に向けたIT導入補助金等についてお伝えいたしました。次号では、昨年度の弊社のデジタルツール導入に関するランキングをお伝えする予定です。また、6月には恒例の「第45回渡敬ビジネスフェア」も開催いたしますので、ぜひお越しください。

次号も、皆様にとって役立つ情報をお届けできるよう努めてまいります。今後ともDX通信をよろしくお願いたします。

渡敬伴走支援サービス

社内業務のデジタル化・DX化にお悩みの方へ

デジタル化の必要性を感じつつも、導入方法から活用、費用対効果など、お悩みではありませんか？
渡敬伴走支援サービスは、お客様の社内業務のデジタル化、各種ツールをお客様自身が活用していけるように支援を行います。

01 デジタル化経営伴走支援

全4回のワークショップを基本として、お客様の社内業務におけるデジタル化を進めていくための支援を行います。

02 kintone活用伴走支援

kintoneでのアプリの作成方法や設定方法、他アプリとの連携やプラグインの導入などの支援を行います。

03 社内情報ツール活用伴走支援

社内情報ツールをお客様が活用していけるよう支援を行います。

04 社内生成AI活用伴走支援

社内生成AI（社内のデータをAIに学習させ必要な情報をAIが自動で探し出すサービス）を活用してお客様の業務を改善する支援を行います。

05 Microsoft365活用伴走支援

Microsoft365の各ツール（Word, Excel, Teams, SharePointなど）をお客様が使いこなしていけるように経験豊富な社員が支援を行います。

06 DX認定伴走支援 DX認定

国が定める法律に基づいた「DX認定」を取得できるよう、弊社の経験を活かした支援を行います。

今年も開催します！

第45回

渡敬ビジネスフェア

来場
無料

働き方DX ～お客様の企業課題を解決する新しいカタチ～

📍 株式会社渡敬 本社 🕒 6月5日(木)～6日(金) 9:00～17:00

4月のセミナー情報 (お申込みは下部QRから)

デジタル経営勉強会 (秋田)

🕒 4月24日(木)
13:30～15:30(受付13:00～)
📍 株式会社渡敬 秋田支店

デジタル経営勉強会 (大館)

🕒 4月25日(金)
13:30～15:30(受付13:00～)
📍 株式会社渡敬 大館支店



株式会社渡敬 DX推進グループ / 渡敬情報システム株式会社 DX推進グループ

渡敬DX通信に関するお問い合わせ、ご意見は右のQRコードを読み取り、フォームからご入力ください。

2025年4月号

